株式会社 福岡電設 NEWS

FUKUOKA DENSETU

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目8-18
電話（092）531-2017
http://www.fukuokadensetu.co.jp
編集：社報委員

第283号　2022年1月31日発行　1月号

品質方針

技術の原点を追求し独自の
技術力でお客様に信頼して頂ける
品質を提供します

経営基本方針

電気工事及び関連する事業を通じて地域社会に貢献する。

社内同心となって安全及び品質管理を徹底し、適正利益を確保する。

豊かな人間性と高い技術力で、働き甲斐と活力ある会社を創造する。

2022年を迎えて新年挨拶

代表取締役社長　古川　辰巳

皆さん、明けましておめでとうございます。輝かしい新年を皆さんとともに、元気に迎えることができ大変嬉しく思います。

新型コロナウイルスの感染拡大から約2年、デルタ株、オミクロン株へと変異し続けている中、社員の皆さん、ご家族ともに日々感染防止へ大変ご苦労頂き感謝申し上げます。今年も感染防止の為、代表者による仕事始め式となり、一堂に会することができず残念でなりません。コロナにより日常生活から日本経済、世界経済までもが閉塞感の中で進んでおりますが、ワクチン接種や経口投薬も開発され、確実に光は見えてきております。これからはWith（ウィズ）コロナのとおり、新型コロナウイルスとの共存、共生の時代となります。正しく恐れて、引続き感染防止対策の実施を宜しくお願い致します。

さて、昨年は7月に東京オリンピックが開催され、日本史上最多となる58個の金メダルを、パラリンピックでは51個の金メダルを獲得しました。特にスポーツ界では、テニスで大阪なおみ選手が全豪オープン優勝、ゴルフでは全米女子オープンで笹生（ささう）優花選手が初優勝、マスターズトーナメントでは松山英樹選手が優勝しメジャー制覇、野球では大谷翔平選手がメジャーMVPに選ばれるなどスポーツ界での日本人選手の活躍が大きく、コロナ禍の中嬉しい感動を与えてくれました。

そしてなにより、福岡電設・創立40周年の佳節を無事迎えることができたことが一番の出来事です。お客様はじめ、関係各所の皆様へ感謝するとともに、特に社員の皆さんには、常日頃の努力に深く感謝を申し上げます。

私達を取り巻く建設業界では、国内外の景気回復を受け堅調に回復すると見込まれていましたが、原油高、サプライチェーン（調達、製造、販売、消費などの一連の流れ）の混乱、中国経済の減速などの影響により、設備投資額は前年比のわずか2～3％増加と予測されています。皆さんご承知の通り、昨年後半より原材料価格の急騰、部品調達の停滞など建設業界への影響は大きく、年度末へ向け大規模な現場では、竣工延期となる現場も出てくると予想しております。今後も、各現場への影響が最小限となるよう、各部、各班、資材グループともに情報を共有し、動向に注意するようお願いします。

このように不透明な建設業界の中を勝ち進んで行くためには、いつも申し上げているように創立40周年から50周年への、この10年がとても重要となります。国内外では脱炭素、SDGs（エスディージーズ）関連が大きく表面化してまいります。その為の科学（IT、通信、車、物流、医療）も、私たちの想像を超えるスピードで進化し、世の中が大きく変わっていきます。我が社にとっても更に企業体質、企業価値を高めていく大事な時であります。

そこで、2022年はテーマを「飛躍の年」と掲げ、創立50周年へ一段と力強く出発し、より一層人材の育成に取り組んでいきます。大いなる飛躍のためには、基本がしっかりしていることが重要です。

昨年末には労災でのケガが発生しました。幸い入院を必要とするような大きなケガではありませんでしたが、ちょっとした不注意によるものです。改めて安全作業の徹底、KYミィーティングの実施など安全への基本行動の遵守が大事です。これ以上の災害が起こらないように、指導、安全作業実践の徹底をお願いします。

加えて品質向上、技能、資格取得研修、一対一の個人指導、コンプライアンス教育にも力を注いでいきます。福岡電設社員のだれもが人材です。先輩は、後輩を大切に粘り強く指導し、励ますことにより若い社員が躍動します。後輩の成長を支える最大の力になっていくとともに、一人一人が会社の柱として自らも率先して成長し、会社が大きく飛躍する原動力となって頂きたいと願っております。

今年の干支は「壬寅（みずのえとら）」、由来は厳しい冬を越えて、芽吹き始める、新しい成長の礎となる年とされています。まさにコロナ禍中は厳しい冬、これを越えて社員全員で明るく活気ある年としていきましょう。残り3ヶ月、安全の確保と必ず年度目標を達成できるよう、各部の更なる努力をお願いします。

結びに、本年が皆さんとご家族、ご親族の皆様の益々のご健康、ご多幸を心より祈念して、年頭の挨拶と致します。ご安全に。

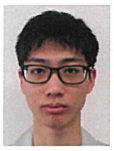
2022年1月5日

株式会社福岡電設
代表取締役社長　古川　辰巳

成人を迎えての抱負

【電気技術部】荒牧　勇稀　社員

成人して、今まで以上に責任感をもって行動し、より一層仕事に励みたいです。同期の中でも一番と言われるように頑張ります。



【電気技術部】木下　雅月　社員

成人としての自覚と責任感を持ち、何事にもチャレンジ精神を持って取組み、日々成長して仕事ができるように頑張ります。

【電気技術部】下田　海航　社員

仕事を色々と覚えて、できる作業をどんどん増やしていきたいです。また、仕事以外にも色々な事に興味を持ち、プライベートも充実させたいです。

【配電工事部】棚町　怜音　社員

この度成人しましたので、今までよりも行動に責任を持ち、自立して、立派な社会人になれるように精一杯頑張ります。

【電気技術部】倉光　亮太　社員

仕事に対して、今まで以上に自分で考えて取り組んでいきます。今年2年目になるので、後輩の見本になれるように仕事を頑張ります。

行動指針

一. 我々は、福岡電設の社員として、自覚と誇りを持って仕事をします。

二. 我々は、人間性豊かな技術者として、今日より明日へと常に成長します。

三. 我々は、お客様に満足して頂ける技術を提供し、誠意を持って仕事をします。

四. 我々は、今の仕事のやり方をベストとせず、常に工夫、改善を続けます。

五. 我々は、利益に拘る強い思考と行動力を発揮して、コスト低減に努力します。

六. 我々は、未来ある当社の姿を確信し、今日一日全力で行動します。

2月の安全目標

【電気技術部】
各作業ごとの一人KYの実施
車両運転時の車間距離の確保とゆとりある運転の実施
十分な睡眠の確保と自己健康管理の徹底

【配電工事部】
寒冷期の足元確認・つまづき転倒防止対策の徹底
保護具の使用前点検の確実実施
感染予防対策の徹底

【総務部】
コロナウイルス、インフルエンザ、風邪予防の徹底（手洗い、こまめな水分補給等）
定時退社の徹底
交通災害防止（早めのライト点灯、法廷スピードの厳守等）

今月のニュース

新型コロナ　34道府県にまん延防止等重点措置を適用

政府は24日、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」の感染拡大を受け、北海道や大阪府、福岡県など18道府県に「蔓延（まんえん）防止等重点措置」を適用する方針を固めた。期間は27日から来月20日まで。今月末に期限を迎える沖縄、広島、山口の3県も病床使用率が高く、来月20日まで延長する。24日の新規感染者数は東京が8503人、大阪府が4803人、福岡県は2013人、日本全国で44810人を確認した。

宮崎県日向灘を震源とする震度5強の地震発生

1月22日（土）1時08分頃、大分県と宮崎県で最大震度5強を観測する地震がありました。震源地は日向灘で、震源の深さは約40km、地震の規模（マグニチュード）は6．6でした。この地震による津波は発生していません。この地震によって宮崎県内で4名、大分県内で6名が重軽傷を負い、窓ガラスが割れたり、ブロック塀が倒壊するなど、6件の建物被害が確認されました。また、配水管の漏水のため、あわせて1031世帯が断水しました。